

山下小頭再開発 市民検討会

第4回検討会 資料

令和7年11月29日（土）

《第4回》プログラム

時間	行程
9:00～9:20	開会 「答申を踏まえた基本的な方向性」の説明 等 ・市民が結ぶ新たなまちの環
9:20～11:55	グループワーク等、途中休憩(10分)
11:55～12:00	事務連絡・閉会

《市民検討会 全5回の概要》



今回

第1回
(9/27)

第2回
(10/18)

第3回
(11/8)

第4回
(11/29)

※それぞれのテーマに分かれて議論

現地見学・
山下ふ頭
を見た感想等

テーマⅠ
「緑・海辺」

テーマⅡ
「イノベーション」

テーマⅢ
「賑わい」

市民が結ぶ
新たなまちの環

基盤・空間(交通・防災・景観)

第5回(12/20) これまでの振り返り

市民意見募集の概要



市民意見募集は以下の期間・方法によって行いました

意見募集の概要

募集期間	令和7年7月1日(火)～9月9日(火)
応募方法	・インターネット入力フォーム ・リーフレット付属はがき
寄せられた意見数	2,610件
広報	・プレゼンテーションスペース ・みなとみらい線各駅デジタルサイネージ ・LINE、X、Instagram、Facebook 等



プレゼンテーションスペース



デジタルサイネージ

意見募集の設問

「基本的な方向性」が示す新たなまちの将来像について、ご意見のある項目を選択いただき、項目に対するご意見（自由記述）を募集しました

テーマⅠ 世界に誇れる、魅せる「緑と海辺」空間

取組の考え方1
多くの人々の関心を惹く緑・海辺空間

取組の考え方2
新たな発見や感動をもたらす緑・海辺空間

テーマⅡ 持続可能なまちを支える 明日へのイノベーション

取組の考え方1
多様な人材・技術の交流による
絶え間ないイノベーションの創出

取組の考え方2
時代の最先端の技術が実装される
世界を代表するグリーン社会の実現

市民が結ぶ
新たなまちの環

テーマⅢ 活気に満ちあふれ、周辺へと 広がる新たな賑わい

取組の考え方1
旅の目的地となる
魅力的拠点の形成

取組の考え方2
地域全体の活性化に
つながるまちづくり

「緑・海辺のまち」を支えるインフラ構築と空間整備

取組の考え方1
まちをつなぎ、賑わいが
広がる交通機能の強化

取組の考え方2
誰もが安心して滞在できる、
災害に強いまちづくり

取組の考え方3
横浜の新たな象徴となる
魅力的な景観デザイン

「市民が結ぶ新たなまちの環」に関する市民の声



79件のご意見を、GPT-4.1を活用して複数の要旨にまとめると以下のとおりです

- ①市民が主役となり、誰もが安心して集い、交流や活動のできる場所や仕組みを作つてほしい
- ②子どもから高齢者まで、安心して遊び・学び・過ごせる、緑や水辺のある場や施設を充実させてほしい
- ③防犯、防災に重点を置いたまちづくりをしてほしい
- ④観光都市としての魅力を生かしつつ、市民の暮らしやすさ、地域の文化・歴史も大切にしてほしい
- ⑤市民が運営に参加し、気軽に利用できる公共施設の整備や、交通・アクセスの改善を重視してほしい

1,099件のご意見を、GPT-4.1を活用して複数の要旨にまとめると以下のとおりです

- ①市民が利用しやすく、憩いや交流ができる広い公園や自然豊かな空間を中心に整備してほしい
- ②収益性や税収確保を重視し、長期的に横浜市や市民に還元できる開発をしてほしい
- ③緑や海辺の自然・景観を活かし、環境保護や防災に配慮した開発にしてほしい
- ④子どもから高齢者、障害者まで安心して過ごせる施設や仕組みを整備してほしい
- ⑤港町横浜の歴史や文化を守り、体験や学びにつながる施設を整備してほしい
- ⑥魅力や活気、体験を生む新たなランドマークや先進的な施設、観光の拠点を整備してほしい
- ⑦計画や将来像の具体性を高め、予算や事業スキーム、維持管理等を明確にしてほしい

《第4回》グループワーク

新たにできるまちで、市民が活躍できる・やってみたい活動とは？

①参加したいと思える要素・活動とは？

これまでの議論をもとに、市民が誇り・愛着(シビックプライド)を感じられる取組を考えてみよう。

- ・新たなチャレンジ・活躍ができる場・機会
- ・企業等と市民が連携・交流(新たな体験・経験)
- ・埠頭内だけでなく、周辺との連携・交流
- ・オープンスペースの市民目線の活用方法

など

②「市民参画」のイメージを整理・共有

提案の項目分けを行い、グループとしてのイメージを膨らませていく

- ・環境保全や交流促進
- ・最先端技術の体験・体感
- ・賑わいづくりと地域活性化
- ・来街者へのおもてなし

など

